

大野智子 piano
城戸夕果 flute
コモブチキイチロウ electric bass, contrabass

2024 04月28日(日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無)

MC=3700+2drinks order (1drink=600~)

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



城戸夕果

洗足学園大学在学中にジャズ・フュージョン系の音楽家として活動開始。89年、小野リサのバンドに入りブラジル音楽に目覚める。90年代は毎年リオに長期滞在し、複数のリーダー作を録音。ジョニー・アルフ、ジョアン・ドナート、カルロス・リラ、ジョイス・モレーノらと共演した。日本では自身のバンドでの活動のほか、宮沢和史、EPO、渡辺香津美らと共演。21世紀に入り、外交官夫人としてブリュッセル、ブラジリア、ボストンに在住。現地で音楽活動も行ない、2020年に帰国。ブラジル音楽を軸にジャズなどの素養、海外での多彩な経験も生かして活動中。



大野智子

東京都渋谷区出身。立教大学法学部、米国ニュージャージー州立ウィリアムバスターソン大学ジャズ科を卒業。1990年に渡米。リーダーアルバムとして徳間ジャパン、アルゼンチンMDRレコードより5枚のリーダーアルバムがある。リンカーンセンター、バードランド、ブルーノート、ソリストとしてのカーネギーホールでのニューヨークポップスオーケストラとの共演、ニューポートジャズフェスティバル、ブエノス・アイレスジャズフェスティバル等の出演を経て、現在ニュージャージー州在住。



コモブチキイチロウ

1966年東京生まれ。香港にて幼少期を過ごす。音楽好きの家庭に育ち、15歳でチョッパーベースのルイス・ジョンソンの演奏に感動しベースを始める。当時は母のクラシックギターの弦を4本にして叩いていた。川端民生氏、ジョージ大塚氏に師事。ピットインなどのジャズライブハウスを中心にセッション活動を開始。90年代中頃からブラジル音楽の豊かさに吸い込まれるように傾倒するようになる。ボサノヴァ黄金期の一人、ロベルト・メネスカルの出会いを機に1997年に開催されたボサノヴァ生誕40周年コンサート「Gets Bosa Nova」に多くのブラジルアーティストと共に出演。その後ワダ・サー、カルロス・リラ、ドリ・カイミ、ミュシャ、フィロー・マシャードなどの来日公演をサポートする。サンバの力強いグルーブを信条に掲げ、ジャズ、フュージョン、ラテン、R&B、ソウル、ポップス、フラメンコなど様々なバンドでも活動を展開している。現在渡辺真夫クインテット、渡辺真知子バンド、中路英明オバタラ・セグンドにレギュラーメンバーとして参加。オリジナルリーダーバンドの活動としてヴォーカルのCHAKAとデュオユニット【コチちゃん】を結成。歌とベースだけのシンプルな世界に挑戦している。